

# アトピーが良くなる大事な大事なお話

橋本健太郎

当商品は全ての方に効果があることを保証するものではありません。  
病気には様々な症状・病状があり、効果には個人差があります。

## 1. はじめに

みなさん、こんにちは。橋本健太郎と申します。

まず始めになぜ私がこの本を書こうと思ったのかについてお話しておきたいと思います。

というのも、本屋さんに行けば、アトピー関連の本は、特設コーナーが設けられているのかと思うほど、さまざまな本が並んでいるからです。

わざわざ、全く無名であり、医者でもない私が本を書き上げるまでもないと思っただ方も多いのではないのでしょうか。

しかし、本屋に並んでいる本を手にとったときにいつも感じるがあります。実際に重症のアトピー性皮膚炎を克服した立場から見て、いつも感じることです。

これではアトピーは治らないと。

なぜ治らないと思っただのかをお話しする前に、いったいどんな本が本屋さんで並んでいるのか整理しておきましょう。

アトピー関連の本。

本当にさまざまな本が並んでいるのですが、実はきちんと分類してみると、以下の2種類しかありません。

1. 西洋医学の医師が書いたステロイド外用薬を中心にスキンケアをして上手に付き合っていきましょうという王道を行く本。
2. 民間療法・特殊療法を紹介するもので、大抵はステロイドを否定し、これさえすれば治るという本。

これだけです。

では、なぜいろんな本があると感じてしまうのでしょうか。

それは、2の民間療法・特殊療法を紹介する本がやたらと多いからなのです。

ざっと挙げてみるだけでも、

水治療で治るというもの。

温泉療法で治るというもの。

SOD 療法で治るというもの。

イソジン療法で治るというもの。

健康食品で治るというもの。

化粧品で治るというもの。

エステで治るというもの。

宗教で治るというもの。

しかもここからさらに、それぞれのカテゴリーを細分化することができます。

例えば、水治療というカテゴリーで言えば、

酸性水の噴霧で治るというもの。

アルカリイオン水を飲めば治るというもの。

健康食品というカテゴリーであれば、

ローヤルゼリーで治るというもの。

木酢水で治るというもの。

ルイボス茶で治るというもの。

挙げればいちいち切りがありません。

なぜこんなにアトピー関連の本が多いのでしょうか。

それはアトピーが治りにくい病気であるからでしょうか。

もちろん、その考え方は正しいです。

ですが、正解の中の一つでしかありません。

出版業界の立場から言わせて頂ければ、アトピー関連本の市場が魅力的だからです。

分かりやすく言えばお金になるからです。

そして、アトピー関連本を出版して自社の製品を宣伝している業者の立場から

言わせて頂ければ、

アトピー性皮膚炎の市場が非常に魅力的だからです。  
分かりやすく言えばお金になるからです。

なぜお金になるかというと、アトピー患者にとって、アトピーが治るという殺し文句はほとんど麻薬並みの効果があり、重症患者であればあるほど、切羽詰まっているその状況のせいで、高額な代金でも支払ってしまいやすいからです。

断っておきますが、私は別に民間療法・特殊療法を否定しているわけではありません。  
治るのであれば、どんな治療法でも試してみるべきであると考えています。

ステロイドによる西洋医学の治療に不安を感じ手に取った本、あるいは人づてに聞いた民間療法・特殊療法を試してみたいのであれば、ぜひ試してみたらよいと思います。

その治療のおかげで治ったのであれば素晴らしいではありませんか。

あの酷い状態であるアトピーから脱出できるのであれば、少々高額であっても治るのであれば、それで良いと思います。

問題は・・・治らないときです。

ワラをもつかむ思いで飛びついた治療が本当にワラであった場合です。

これは笑えません・・・。

実は私自身も、何度か経験しています。

時間とお金をムダにただけでした。  
残念ながら、民間療法・特殊療法の中には、アトピービジネスという金儲け主義のみで成り立っているものが数多く存在しています。

資本主義の世の中ですから、お客様よりお金を頂くということは悪いことでも何でもありません。  
お金を稼ぐということはそういうことです。  
しかし、お金を頂く以上、それに見合った価値を提供しなければいけません。

アトピー治療であれば、アトピーが治るということです。

お客様に「治る」という「価値」を提供しなければなりません。

しかし、価値が提供できなかった場合、または提供するつもりが元々ない場合…。

これは単なる詐欺です。

故意かそうでないかはさておき、結果的にお客が望む価値を提供できなかったのですから、そこにあったのはお金の流れだけです。流れた方向は「お客」から「アトピービジネス」へです。

お客様であるアトピー患者はどう感じるでしょうか。

お金を吸い取られただけと感じるでしょう。

時間をムダにいただけと感じるでしょう。

さらに、もし悪化してしまったのであれば、これはもう悲劇です。

まさしく「ワラ」以外の何ものでもありません。

こうならないためにはどうすればよいのでしょうか。

どうすれば、あなたに効果がある治療を選び出すことができるのでしょうか。

それには、あなたが「ワラ」であるのか「ホンモノ」であるのかを正しく見分けることが出来なくてはなりません。

見分けるとは、以下の能力があるかないかということです。

1. 治療を始める前に、この治療では治らないと判断することが出来る。
2. 治療中にこの治療では治らないと判断し、治療を中止することが出来る。
3. 効果がある治療法に出会った時に、この治療であれば良くなると確信できる。

まず 1 の場合はどうでしょうか。

とりあえず、試してみないことには分かりませんので、ここで判断することは現実問題無理です。中には、明らかにウソだと分かるものもありますが…。

ですので、実際に見分ける能力というのは、

2 の状況で正しく判断できるかどうかになります。

実はここで、アトピー患者の多くは迷路に迷いこんでいるように感じます。

ステロイド治療を選んだ方は炎症を抑えても抑えても、また悪化してくる状況に不満を感じ、このままでよいのかというあせりを感じています。

ステロイドを使い続けていく不安と、根本的に治る治療はないかという考えから、民間療法・特殊療法に手を出して行きます。

民間療法・特殊療法を選んだ方は、それですんなり良くなっていけば問題ないでしょう。ですが、自分の期待していたほど効果がなかった場合。つまり、

- a. これぐらいで治るとい提示された期間が過ぎても治っていない。
- b. 良くなっても、自分が期待していたほどではない。
- c. 治るところか悪化している。

これらの場合、この治療を続けていってもよいのかどうか迷うところです。

a、bであればもう少し続けてみてもよいかも知れませんが、元々あなたに合った治療ではなくこれ以上の改善が見込めないのであれば、続けていっても意味がありません。

cの場合は即刻やめるべきなのでしょうが、ほぼ間違いなくあなたはこう言われるでしょう。「リバウンド」で悪化しているだけだから問題はない。体からステロイドの毒素が抜ければ良くなっていきますよ、と。ステロイドを使用した経験がない方には「好転反応」だからという言葉も用意されています。

これを言われたらたまりません。  
またまた、必殺の殺し文句です

あなたは「リバウンド」で一時的に悪化しているのか  
「その治療法」が原因で悪化しているのか見分けることが出来ないからです。

仮に悪化が本当に「リバウンド」だとしても、  
いつ頃その「リバウンド」が治まってくれるのかも分かりません。

半信半疑のまま、つらい思いをして、いろいろなものを犠牲にして治療を続けていくのか、根を上げて治療を中止するのか・・・。

どう判断してよいのか分からないのです。

そして最後の3の能力。

こんどは逆に、効果がある治療法に出会ったときに、この治療であれば効果があるときちんと確信することができるかということです。

アトピーという病気は何かの拍子にわけも分からず悪化してしまうことがあります。正しい治療方法を選んでいても、どうしてもそういう場合が出てきてしまいます。そのときに、この治療では効果がないと思いつ断することなく、信じて治療を続けることができる。この能力も良くなるために必要になってきます。

今この本を読んでいるみなさんも、このあたりをぐるぐるとさまよっているのではないのでしょうか。

どれが「ホンモノ」なのか見分けることが出来ない。あなたの中で判断基準が出来ていないのです。

実は私が本屋でいろいろな本を手にとってみたときに、これではアトピーは治らないと思うわけはここにあります。

**あなたが、あなたのアトピーに効果がある治療法を選ぶことが出来ない  
ということです。**

**他人に効果がある治療法ではなく、あなたに効果がある治療法です。**

他人に効果があってもあなたに効果がないのであれば、その治療法はあなたにとっては「ワラ」であり、「ホンモノ」ではなかったということです。

重要な点は、あなたが自分に効果がある治療法を選び出すことが出来るかどうかということです。そして、その為の判断基準を持っているのかということです。

アトピー性皮膚炎という病気は情報があり過ぎて、しかも、ウソやウワサなど信憑性の低いものから始まり、ステロイド肯定・否定など、意見が真逆のものも普通に存在している為、はっきり言ってわけが分からないのです。

どれを信じてよいのか分からないのです。

そして一番感じることは、いろいろな本が並んでいるにもかかわらず、

治療法という治す手段を紹介する本しかないことです。

要するに治るといふゴールに向かう手段として、こんな治療法がありますよという本ばかりで、では、ゴールにどのように向かっていくのかという「良くなる過程」を書いている本がないのです。

例えば、あなたは今アトピーを治療しています。

どのように炎症が消えて、どのようにかゆみがなくなり、アトピーが良くなっていくのか分かっていきますか？

かゆみが消えて、かかなくなり、その為炎症がなくなって良くなっていくのですか？  
それとも、炎症がなくなっていき、かゆみもなくなるため、かかなくなり良くなっていくのですか？

一体どういう順序でどういう過程を経て、良くなっていくのでしょうか。

アトピーとは、さまざまな要素が複雑に絡み合って発症している病気です。  
ざっと挙げてみるだけでも、皮膚の炎症、かゆみ、かく行為、ストレス、皮膚のバリア機能異常、アレルギーと5つも6つも要素が浮かんできます。

一体これらの要素はどういう風に絡み合ってあなたのアトピーを創りあげているのでしょうか。  
そしてどのようにアプローチしていけば良くなっていくのでしょうか。

この部分を解説している本が全くないのです。

他の病気であれば「良くなる過程」を解説する本なんて必要ないのかも知れません。  
医者に行って出された薬を飲めば治るのですから。

しかしアトピーはそうはなっていないのです。  
出された薬では治っていないのです。

であるならば、どのように良くなるのかを伝える本があっても良いと考えました。

どのように良くなっていくのかという過程が予め分かっていたら、  
あなたが選んだ治療法がもしその道から外れていった場合、  
この治療法は自分には効果がないと判断することが出来るからです。

しかも、この過程は医者には書くことが出来ません。  
アトピーになった経験がなく、アトピーが治った経験もないからです。  
治療のプロでも、アトピーの人の精神状態、かゆみへの対処などは  
実際にアトピーになったことがないので分からないのです。

書くことが出来る人は、実際に重症のアトピーを経験して、しかもそれを克服した人だけです。  
そうでないと、真の意味で患者の心理状態が分からないのです。

私はアトピーの治療がここまで混乱を極めて、  
何を信じてよいのか分からない状況が創り出されているからこそ、  
どのように良くなっていくのかという部分をお伝えすべきだと思いました。

アトピーを克服した今感じるがあります。

アトピー性皮膚炎が難病というレッテルを貼られている理由は、  
アトピー性皮膚炎そのものを治すことが難しいのではなく、  
「ホンモノ」の治療に巡り合っていない、  
つまり「ワラ」ばかり掴まされていることが真の原因ではないのかということです。

「良くなる過程」が予め分かっていたら、何が「ワラ」であり何が「ホンモノ」であるのかも  
見分けることが出来るようになります。

なぜなら、もし「良くなる過程」どおりに進んでいなければ、  
この治療法では治らないと気づくことが出来るのですから。

誤った道に迷いこんでいることにいち早く気づき、  
正しい道に軌道修正することが出来るのですから。

今日からあなたは治るという「ゴール」に向けて最短距離を歩き始めます。

今もし、あなたがアトピー性皮膚炎で困っているのなら、  
今の治療で不安を感じているのなら、

きっとこの本はあなたのお役に立ってくれることでしょう。

それでは、始めましょう！

## 目次

1. はじめに
2. になりたい自分
3. アトピーってなに？
4. あいまいなアトピーの定義
5. アトピーという病名は百害あって一利なし
6. かくということ
7. かく爆弾
8. 習慣化
9. 快感
10. ストレス解消
11. 自傷行為
12. ステロイドという悪魔
13. リバウンドの正体
14. 誰が病気を治すのか
15. 湿疹が治るということ
16. 自然治癒力

17. ステロイドという天使
18. アトピーが良くなる大事な大事なお話
19. 薬に対する考え方
20. アトピーの真実
21. 終わりに ~ なりたい自分 ~
22. 感謝